

令和 2 年度 事業報告

社会福祉法人 横浜市旭区社会福祉協議会

<推進の柱 1：地域の福祉力アップ>

地域住民が主役となり地域課題に取り組むための基盤をつくる

1 地域の実情に応じた取組

※（財源）今年度決算額【前年度決算額】

地区社協活動支援

《重点事業》

（会費収入）（市社協補助金）（共同募金）

5,386 千円【5,480 千円】

地区社協活動の推進を目的に、各地区社協からの相談に応じ情報提供や助成等の活動支援を行った。また、一人ひとりの困りごとを解決する仕組みづくりを進めるため、新型コロナウイルスの影響により見えてきたニーズに対して、地区社協と連携し、支援を行った。

（1）区内 19 の地区社協の活動支援を目的として活動費の交付および福祉講座・研修会の開催支援と助成を行った。また、地域福祉保健計画地区別計画の推進のため、広報・研修・調査費用等の助成を実施した。

① 活動助成金：5,189,000 円（19 地区）

（単位：円）

	地区名	市社協 補助金	区社協助成		合計
			広報啓発事業※	世帯按分助成	
1	鶴ヶ峰	50,000	10,000	226,000	286,000
2	白根	50,000	10,000	193,000	253,000
3	旭北	50,000	10,000	197,000	257,000
4	上白根	50,000	—	177,000	227,000
5	今宿	50,000	50,000	195,000	295,000
6	川井	50,000	—	193,000	243,000
7	若葉台	50,000	70,000	199,000	319,000
8	笹野台	50,000	80,000	189,000	319,000
9	希望が丘中	50,000	—	185,000	235,000
10	希望が丘南	50,000	50,000	183,000	283,000
11	希望が丘東	50,000	10,000	200,000	260,000
12	さちが丘	50,000	10,000	190,000	250,000
13	万騎が原	50,000	80,000	181,000	311,000
14	二俣川	50,000	10,000	200,000	260,000
15	二俣川ニュータウン	50,000	100,000	190,000	340,000
16	旭中央	50,000	10,000	175,000	235,000
17	旭南部	50,000	10,000	188,000	248,000
18	左近山	50,000	50,000	193,000	293,000
19	市沢	50,000	50,000	175,000	275,000
	合計	950,000	610,000	3,629,000	5,189,000

区社協助成については、共同募金（年末たすけあい）を財源として助成を行った。

※広報啓発事業（上限 100,000 円）

- ・ホームページの開設・運営：上限 30,000 円
- ・広報紙（地区社協だより等）の発行： 上限 70,000 円
- …年 1 回：10,000 円、年 4 回（全戸配布）：50,000 円、年 6 回（全戸配布）：70,000 円

②福祉講座・研修会助成：67,000 円（4 地区）

	地区名	金額(円)	日程	内容	参加者数
1	希望が丘東	20,000	10 月 3 日	生活支援ボランティア担い手育成講座	9 名
2	二俣川ニュータウン	17,000	10 月 18 日	講座「新型コロナウイルス感染拡大の状況と対策～感染症・食中毒の予防と対策～」	41 名
3	川井	10,000	1 月 23 日	講座「運動でひざ痛を予防改善」	23 名
4	笹野台	20,000	3 月 24 日	健康づくりウォーキングとともに「健康講座」	15 名

賛助会費を財源として助成を行った

③地域福祉保健計画地区別計画取組助成：130,000 円（3 地区）

	地区名	金額(円)	内容	備考
1	白根	50,000	白根地区住民アンケート調査集計結果分析による第3期地区別計画の推進及び広報誌特別号の発行	6 月発行 部数：5,500 部
2	笹野台	30,000	第3期地域福祉保健計画Hチーム「障がい者の対応への理解」	「依存症とは何か」というテーマ
3	川井	50,000	認知症理解講座	映画鑑賞

共同募金（年末たすけあい）を財源に助成を行った（上限 50,000 円）。

（2）職員を地区担当制とし、地区社協事業・活動ニーズ等の状況把握や地区で進められている新規事業の立ち上げ、支えあい活動（無料頒布会等）の支援を行った。また、ボランティアセンターや移動情報センター等、区社協に寄せられた相談を地域につなげ、解決を図った。さらに、各ケアプラザと連携した地域支援を展開するために情報交換会を開催した。

（3）「地区社会福祉協議会分科会（P35 参照）」を定例開催し、見守りの仕組みづくりを検討した。グループワーク等を通じて意見交換、情報交換を行った。また各地区の広報紙や行政からのお知らせ等をまとめ、「地区社協定期便」として月 1 回地区社協に情報提供を行った。

（4）地区社協役員等を対象として地域福祉の推進を目的に役員向け研修会を開催した。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2 回に分けた開催となった。

第 1 回	目 的	地区社協に求められる役割や地域共生社会について学ぶ。 ※新任役員研修として実施
	日 程	8 月 31 日（月） ①13：00～14：30 ②15：00～16：30
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	① 2 名（2 地区） ② 9 名（6 地区）

内 容	・地域共生社会について ・地区社協に求める役割 ・羽沢プロジェクトについて
講 師	区社協職員

- (5) 横浜市社協と 18 区社協との共催で、「第 6 回 よこはま地域福祉フォーラム」の開催が予定されていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

生活支援体制整備事業

《重点事業》

(市社協委託料) 200 千円【200 千円】

生活支援体制整備事業が開始され 5 年が経過した。本事業は「見守り・つながり」、「交流・居場所」、「生活支援」の 3 つの柱を中心に、高齢者等一人ひとりのできることを大切にしながら、住み慣れた地域で暮らし続けるために、多様な主体が連携・協力できる地域作りを目指すものである。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初予定していた事業や研修等が実施できなかったが、本事業の推進役である各 2 層生活支援コーディネーターの支援等に力を注いだ。

(1) 1 層(区域)生活支援コーディネーターとしての取組

地区社会福祉協議会分科会内で「見守り」の仕組みづくりについて検討している「ワーキンググループ」において、本事業の柱の一つである「見守り・つながり」と連携する形で実施できるように話し合いを継続した。

(2) 2 層(地域ケアプラザエリア)生活支援コーディネーターと協働した取組

上記(1)の「ワーキンググループ」に 2 層生活支援コーディネーターにも参加してもらい、実際に地域で進めることをイメージしながら検討を続けた。

※例年実施していた「食事サービス連絡会」、「ちょこボラ連絡会」、「サロン連絡会」については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は未開催だった。

(3) 2 層 生活支援コーディネーターへの支援

①生活支援コーディネーター同士の情報交換の場づくり

【生活支援コーディネーター連絡会】(原則毎月第 3 木曜日)

日 程	① 6 月 18 日(木) ② 7 月 30 日(木) ③ 8 月 20 日(木) ④ 9 月 17 日(木) ⑤ 10 月 15 日(木) ⑥ 11 月 26 日(木) ⑦ 12 月 17 日(木) ⑧ 2 月 18 日(木) ⑨ 3 月 18 日(木)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	16 人 (13 地域ケアプラザの 2 層生活支援コーディネーター、1 層生活支援コーディネーター、区役所地域包括ケア推進担当係長、区役所事業企画担当職員)
内 容	(1) 区役所からの情報提供 (2) 区社協からの情報提供 (3) 生活支援コーディネーターが進めている各連絡会からの取組報告 (4) コロナ禍における活動について

②研修の機会づくり

【研修会の開催】

2層生活支援コーディネーターが、生活支援体制整備事業の理解を深め、コーディネーターとして必要な知識やスキルを学ぶために研修会を開催した。特に新任の生活支援コーディネーターに対しては、事業の背景や趣旨、地域に住む高齢者一人ひとりの困りごとへの向きあい方や、制度やサービスだけではなく地域でできることについて考える機会を作った。

No	開催日	内 容	人数
1	6月4日	地域福祉保健計画事務局担当説明会（二俣川地域ケアプラザ）	1
2	6月5日	地域福祉保健計画事務局担当説明会（上白根地域ケアプラザ）	1
3	6月10日	新任生活支援コーディネーター勉強会（ひかりが丘地域ケアプラザ、今宿地域ケアプラザ、今宿西地域ケアプラザ） 「生活支援体制整備事業の背景～地域共生社会との関わり～」	3
4	8月5日	新任生活支援コーディネーター勉強会（ひかりが丘地域ケアプラザ） 「個別支援から地域支援につなげる」	1
5	8月7日	新任生活支援コーディネーター勉強会（今宿西地域ケアプラザ） 「個別支援から地域支援につなげる」	1
6	3月12日	新任生活支援コーディネーター勉強会（今宿西地域ケアプラザ） 「1年目を振り返って」	1
7	3月12日	新任生活支援コーディネーター研修会（ひかりが丘地域ケアプラザ、今宿地域ケアプラザ）「1年目を振り返って」	2
8	3月17日	生活支援コーディネーター生活研修 ～特上編～ 「なぜ孤立してはいけないのか」	2

※その他、新あさひみらい塾にリモート参加した。（P29 参照）

（4）その他

①各2層生活支援コーディネーターから相談を受け、進捗状況の確認、事業の進め方の相談、情報提供を行った。

②活動の基盤整備として地域活動・サービスリスト「a y a m u」の入力を行い、活用できるように整備した。

（会費収入）（市社協補助金）（共同募金）（善意銀行）（福祉基金）

各種助成事業

《重点事業》 11,055 千円【13,132 千円】

区内の地域福祉関係団体（ボランティア・当事者団体等）や地区での福祉に関する取組に対し、助成金を通じて支援した。（各区分、団体名、事業名、助成額の詳細については、P41～P45 参照。）また、助成金制度の円滑な運営と適正な執行のために、申込団体の審査や制度の検討を、助成金審査委員会にて行った。

あさひふれあい助成金、区社協独自助成金については、新型コロナウイルス感染症に伴い、申請受付（郵送受付、電話にて聞き取り）・助成決定（助成要件の緩和、活動内容の変更可等）ともに柔軟な対応を行った。また活動見直しのきっかけとなるよう、助成団

体に対し、「新たな生活様式」に合わせた活動を行っていくためのガイドラインを送付し、相談に応じた。

【助成金審査委員会】

第1回	日 程	6月10日(水)
	場 所	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催
	人 数	5名
	内 容	(1)令和元年度あさひふれあい助成金の返還について (2)令和2年度あさひふれあい助成金の審査について (3)令和元年度旭区地域福祉団体活動助成の結果について (4)令和2年度旭区地域福祉団体活動助成の審査について (5)令和元年度旭区社協独自助成金の返還について (6)令和2年度旭区社協独自助成金の審査について
	結 果	(1)～(6)承認された。
第2回	日 程	9月4日(金)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	4名
	内 容	(1)令和2年度あさひふれあい助成金について (2)令和2年度旭区社会福祉協議会助成金について (3)旭区社協独自助成金の見直しについて
	結 果	(1)～(3)承認された。
第3回	日 程	11月6日(金)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	4名
	内 容	(1)令和2年度 区社協独自助成金の審査について (2)令和2年度 地域福祉団体等活動助成について (3)ふれあい助成金説明会の開催について
	結 果	(1)～(3)承認された。
第4回	日 程	2月18日(木)
	場 所	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催
	人 数	5名
	内 容	(1)令和2年度区社協独自助成金審査について (2)令和2年度地域福祉活動団体等活動助成について (3)令和2年度あさひふれあい助成金について(報告) (4)令和3年度区社協独自助成金について (5)令和3年度地域福祉活動団体等活動助成について
	結 果	(1)(2)(4)(5)承認された。(3)について報告した。

(1)あさひふれあい助成金

市社協補助金・共同募金配分金・善意銀行配分金・福祉基金を財源として、区内の地域福祉関係団体の事業に対して助成した。また助成団体には、共同募金の配分金を受けていることを活動チラシに明記する、街頭募金活動に協力するなど周知協力につい

て依頼した。

区分		助成件数	助成金額（円）
要援護者支援	集いの場	58	4,964,000
	家事・生活支援活動	6	490,000
	配食	5	1,000,000
	送迎	4	1,250,000
障害当事者支援	障害当事者活動	11	740,000
	宿泊日帰り	2	100,000
	視聴覚障害者支援	1	50,000
福祉のまちづくり		22	860,000
健康増進		—	0
新規立ち上げ	要援護者支援（集いの場）	2	80,000
合計		111	9,534,000

※令和3年3月31日時点。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から活動中止・見送りとなった配分団体より完了報告時に返還が発生することが想定される。

（2）旭区社協独自助成

新たな地域活動の立上げやさらなる活動の継続と充実を支援するため、区社協独自助成金（①ふれあい助成金激変緩和措置、②ボランティア備品購入、③周年事業・記念誌発行等助成金、④地域の見守り支えあい活動助成金）を交付した。

	名称	件数	金額（円）	財源	助成内容
1	ふれあい助成金 激変緩和措置 （H30～R2）	10	200,000	善意銀行	区社協会員が対象。ふれあい助成金の制度変更に伴い、同じ事業で助成額が減額となる団体に事業費を助成。 （上限額2万円）
2	地域の見守り支えあい 助成金	11	529,000	善意銀行	地域での訪問活動や地域食堂、居場所づくり等、気になる子ども、高齢者、世帯等に対し、見守り活動を実施する事業に対し助成。 （上限額5万円）

※令和3年3月31日時点。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から活動中止・見送りとなった配分団体より完了報告時に返還が発生することが想定される。

（3）旭区地域活動団体等助成

区域を対象とした団体活動に対し、助成を行った。（2団体、総額554,000円）

（4）令和2年度 助成金説明会

令和2年度あさひふれあい助成金について、新型コロナウイルス感染症の影響による助成団体の活動内容変更等に伴う対応に関する説明会を開催した。令和3年度助成に関する説明会は、全4回開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防

止のため中止した。

日 程	①10月20日(火) ②10月27日(火) ③11月5日(木)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	令和2年度あさひふれあい助成金助成団体 89 団体 (①29 団体、②30 団体、③30 団体)
内 容	(1)各団体の活動状況について (2)新型コロナウイルスの影響による助成金の考え方について (3)新型コロナウイルスの影響後における地域福祉活動について (4)情報交換

2 地域・関係機関・行政のネットワーク強化

地域ケアプラザとの連携

地域支援を進めるにあたり、密接な連携先である地域ケアプラザと、事業等実施にあたり様々な場面で打ち合わせ等を行い、連携を図った。

(1) 地域ケアプラザ所長会への参加

日 程	① 6月17日(水) ②8月19日(水) ③10月21日(水) ④12月16日(水) 4月と2月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
場 所	区役所外部会議室
参加者	13 地域ケアプラザ所長、区役所関係各課、区社協
内 容	(1)区役所、区社協からの連絡 (2)各テーマでの意見交換 等

(2) 地域活動交流コーディネーター連絡会(毎月第4木曜日)

連絡会のほか、コーディネーターが主体で開催する事務局会議や各自主グループ活動などに参加し、緊密に連携・支援を行った。

日 程	①6月25日 ②7月30日 ③8月27日 ④9月24日 ⑤10月22日 ⑥11月26日 ⑦12月24日 ⑧2月24日(オンライン) ⑨3月25日
場 所	鶴ヶ峰地域ケアプラザ
人 数	16 人(13 地域ケアプラザ地域活動交流コーディネーター、区役所事業企画担当2名、区社協)
内 容	(1)区役所、区社協からの連絡 (2)各部会報告 (3)各自主グループからの報告 (4)意見交換(団体との意見交換等)

(3) 旭区地域包括支援センター連絡会への参加

日 程	連絡会：①5月26日(火)開催中止 ②9月18日(木) ③11月19日(金) ④3月25日(木) 事務局会議：①4月3日(金) ②4月22日(水) ③8月27日(木) ④10月22日(木) ⑤1月21日(木) ⑥2月18日(木)
-----	---

内 容	(1)区役所、区社協からの連絡 (2)三職種分科会、地域包括研修会報告 (3)各種研修 11月19日(木)「警察との情報交換」 開催中止
-----	---

(4) 旭区地域包括支援センター 社会福祉士分科会への参加

日 程	①7月10日(金) ②9月11日(金) ③11月13日(金) ④3月12日(金)
内 容	(1)区役所、区社協からの連絡 (2)各委員会からの報告等

(5) 地域ケアプラザ運営協議会への参加

- 上白根地域ケアプラザ：2回(9、2月書面審議)
- 左近山地域ケアプラザ：1回(3月22日(月))
- 川井地域ケアプラザ：2回(6月、3月書面審議)
- 若葉台地域ケアプラザ：3回(7月書面審議、11月2日(月)、3月書面審議)
- 鶴ヶ峰地域ケアプラザ：2回(6月、3月書面審議)
- ひかりが丘地域ケアプラザ：3回(5月書面審議、11月11日(水)3月書面審議)
- 南希望が丘地域ケアプラザ：1回(6月、3月書面審議)
- 今宿西地域ケアプラザ：2回(7月、3月書面審議)
- 笹野台地域ケアプラザ：2回(5月書面審議 11月26日(木))
- 白根地域ケアプラザ：1回(3月30日(火))
- 二俣川地域ケアプラザ：2回(6月11日(木)、2月書面審議)

(6) 地域ケア会議等の参加

区域や各ケアプラザが開催する関係会議(地域ケア会議や巡回相談等)への参加を行い、地域ケアプラザや区役所と連携し、個別相談の解決に向けて、地区の関係者との共有を図った。

- ①区域で開催された地域ケア会議への参加：1回
- ②各地域ケアプラザで開催された地域ケア会議への参加：2地域ケアプラザ、4回
- ③地域ケアプラザ・区役所との巡回相談への参加：4地域ケアプラザ、20回

3 福祉保健の啓発の推進

《重点事業》

(共同募金) 83 千円【987 千円】

「すべての区民が地域で支えあい、健康でしあわせな生活を送れるまち、旭区をつくろう」を基本理念とした第3期旭区地域福祉保健計画(きらっとあさひプラン)を、関係機関と連携し推進するとともに、地区別計画の推進を支援した。また、第3期計画の推進期間が令和2年度で終了することに伴い、第4期計画の策定に向け検討し、区民意見募集を実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、策定期間を延長することとなった。

- (1)第3期旭区地域福祉保健計画(平成28年度～令和2年度)の事務局を区役所・地域ケ

アプラザと協働で担い、計画の進行管理や地区別支援チームの支援を行うとともに、第4期計画（令和3年度～7年度）の策定に向けた検討を行った。

【地域福祉保健計画事務局会議】 9回

- ① 4月10日(金) ② 6月5日(金) ③ 7月10日(金) ④ 8月7日(金)
 ⑤ 9月11日(金) ⑥ 11月12日(木) ⑦ 12月11日(金) ⑧ 1月8日(金)
 ⑨ 3月19日(金)

【地域福祉保健計画推進会議】

地域福祉保健計画策定・推進・評価及び地域福祉保健施策の総合的な推進等を目的に開催した。

第1回	日 程	8月26日(水)
	場 所	区役所 新館 大会議室
	人 数	14人（福祉・保健・医療関係団体代表者）
	内 容	(1) 旭区内地域包括支援センターの運営状況について (2) 第4期旭区地域福祉保健計画策定について
第2回	日 程	3月17日(水)
	場 所	区役所 新館 大会議室
	人 数	14人（福祉・保健・医療関係団体代表者）
	内 容	(1) 第4期旭区地域福祉保健計画（きらっとあさひプラン）策定について (2) 令和3年度旭福祉保健センターの主な事業について

【第4期旭区地域福祉保健計画 策定検討部会】

地域福祉保健各分野における現状や課題について、実務者による検討を行った。（令和元年度までに第4回までを開催）

第5回	日 程	6月3日（水）
	場 所	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催
	人 数	9人（福祉・保健関係団体実務者）
	内 容	(1) 区全域計画の具体的な取組について (2) 地区別計画について (3) 振り返りについて (4) 今後の策定スケジュールについて
第6回	日 程	7月27日（水）
	場 所	区役所 新館 大会議室
	人 数	7人（福祉・保健関係団体実務者）
	内 容	(1) 素案（案）について (2) 今後の策定スケジュールについて

【第4期旭区地域福祉保健計画「きらっとあさひプラン」素案に係る区民意見募集】

第4期旭区地域福祉保健計画「きらっとあさひプラン」を策定するにあたり、区民意見募集を実施した。

期 間	11月11日（水）～12月15日（火）
-----	---------------------

周知方法	素案冊子 3,600 部、概要版 1,400 部 ・配架 計 34 か所 ・関係団体等への送付・説明 計 82 か所 ・横浜市旭区ホームページ、広報よこはま旭区版への掲載等
実施結果	(1)意見総数 総計 198 件 (区民 149 人からの意見 198 件) (2)計画(素案)項目別意見数 ・計画全体に関すること 11 件 ・1 章 第 4 期計画策定の背景に関すること 3 件 ・2 章 (2) 目指すまちの姿 基本理念に関すること 4 件 ・3 章 (2) 目指すまちの姿 目指す姿 1 に関すること 12 件 ・3 章 (2) 目指すまちの姿 目指す姿 2 に関すること 77 件 ・3 章 (2) 目指すまちの姿 目指す姿 3 に関すること 24 件 ・その他 67 件

【きらっとあさひプラン地区別計画策定説明会】

目 的	第 4 期計画策定に向けて、地域共生社会の考え方と地域福祉保健計画の関連性や、計画の策定・推進における話し合いのプロセスの大切さに気づき、地区別計画の策定に取り組むことを目的として開催。
日 程	9 月 14 日(月)、9 月 17 日(木) ※両日とも同内容
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	91 人(19 地区計画推進組織代表者等)
内 容	(1)講義「地区別計画の策定にあたって」 講師 和田 敏明氏 (ルーテル学院大学名誉教授、旭区地域福祉保健計画策定アドバイザー) (2)第 4 期旭区地域福祉保健計画の方向性について (3)第 4 期地区別計画の策定について (4)策定スケジュールについて

【地区別支援チーム 新任研修】

目 的	支援チームの新任者を対象として、地域福祉保健計画の概要および関係機関の役割等を理解することを目的として開催。
日 程	5 月 28 日(木)
場 所	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、資料送付

【地区別支援チーム 全員研修】

支援チームメンバーが地域支援の日常業務の関連性を認識し、相互の役割を理解することを目的として開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。

【地区別支援チームリーダー連絡会】

支援チームリーダーへ各地区の取組の振り返りの説明および情報提供等を目的として開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。

- (2) 区役所・地域ケアプラザとともに構成する「地区別支援チーム」の一員として
19 地区連合町内会エリアごとに策定した地区別計画の推進を支援した。

○地区別計画推進会議：65 回参加

○地区別支援チーム会議：49 回参加

- (3) 地域福祉保健計画の周知および推進を目的として、地域で取り組まれている福祉保健活動を知っていただくとともに、地域の方々の福祉保健への関心を高めるために第 10 回きらっとあさひ福祉大会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。
- (4) 長年にわたり、旭区において地域福祉の推進に携わってこられた個人・団体の功績をたたえ、地域福祉の一層の充実を図るため、令和 2 年度旭区社会福祉協議会社会福祉功表彰を実施した。

《地域福祉功労(17 件)》敬称略

佐々木 順子、岩下 斌子、瀬戸 久美子、芳賀 千恵子、利田 光恵

石井 佳江、鈴木 三枝子、小野 赫子、柳澤 多恵子、高安 真弓、渡辺 洋

飯田 洋市、配食サービスボランティア わかたけの会、語らい電話

《寄付金品功労(2 件)》敬称略

ヨガサークル ロータス

《特別功労(15 件)》敬称略

金子 睦雄、石田 亮、阿部 重二、小林 智子、安部 きみ子、村松 靖子

内山 智恵子、増田 貞夫、鎌田 浩明、鈴木 真一、佐々木 正幸

八木 俊幸、魚返 徳久、土岐 武信、高瀬 昇夫

※いずれも名簿への登載を希望されなかった方の氏名・団体名は記載しておりません。

各受賞者へは名簿および表彰状、旭区地域自立支援協議会の協力を得て、区内障害者作業所製品の詰め合わせを記念品として贈呈した。

福祉理解の増進と情報の収集・提供

(共同募金) 2,647 千円【2,828 千円】

広く区民に向けて、地域共生社会の理解と関心を高められるよう、積極的な広報啓発を行った。

- (1) 「あさひいきいき宣言(旭区社協だより)」の作成・発行

【あさひいきいき宣言】

年 3 回 93,000 部 全戸配布

第 104 号 (8 月発行)

特集：新型コロナウイルスに負けない！ ～真の地域共生社会を目指して～

第 105 号 (11 月発行)

特集：本人発信から広がる地域の支えあい

第 106 号 (3 月発行)

特集：誰も孤立させないまち旭区を目指して



NO.104 号



NO.105 号



NO.106 号

(2) ホームページの運営、更新

ホームページの管理運営を行い、随時更新、最新情報を発信した。

(ホームページ更新回数およびアクセス数)

更新回数：26 回 アクセス数：42,467 件



(3) Youtube チャンネルの開設

広く区民に分かりやすい広報の一環として、チャンネルを開設した。

更新回数（限定公開も含む）：4 回 総再生回数 273 回

掲載内容：

- ①横浜市旭区社会福祉協議会プロモーションビデオ
～移動情報センターあさひ編～
- ②2020 神奈川県共同募金会旭区支会 PR 動画
～赤い羽根ってどうやって使われるの？～



(4) ロゴマークの活用

「地域共生社会の実現」をテーマとして引き続き掲げ、広く関係団体や区民に啓発した。



(5) ASAHI オンラインフェスティバル 2020 への参加

共同募金、地域共生社会のPRを目的として、団体紹介動画を配信した。

日程	令和2年12月18日～令和3年2月21日（特設サイト公開日程）
----	---------------------------------

内 容	ASAHI オンラインフェスティバル特設サイト動画配信 (1) 横浜市旭区社会福祉協議会プロモーションビデオ ～移動情報センターあさひ編～ (2) 2020 神奈川県共同募金会旭区支会 PR 動画 ～赤い羽根ってどうやって使われるの?～
-----	--

旭区福祉保健活動拠点の運営

(市受託金収入)(負担金収入) 14,601 千円【14,760 千円】

地域福祉・ボランティア活動の推進拠点である「旭区福祉保健活動拠点」の適正な管理運営を行った。(指定管理期間：平成 28 年度～令和 2 年度)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、区の指導に基づき、貸館利用人数の定員削減、開館時間の短縮、拠点来館者におけるコロナ対策を行った。

(1) ボランティアからの相談受付等を行い、福祉保健活動拠点を活用したボランティアの発掘および活動育成を行った。(P 25 参照)

(2) 貸室業務を通して利用団体の活動内容、活動上の課題などを把握し支援した。

【登録団体数】 131 団体

【利用状況】

平日	利用件数(件)			利用率(%)		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	203	204	114	93.5	94.0	54.8
多目的研修室	131	131	155	60.4	60.4	78.3
点字製作室	128	47	9	59.0	21.7	4.3
録音室	14	3	0	6.5	1.4	0
対面朗読室	21	8	0	9.7	3.7	0

土	利用件数(件)			利用率(%)		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	19	20	4	45.2	47.6	10.3
多目的研修室	15	17	37	35.7	40.5	94.9
点字製作室	1	3	0	2.4	7.1	0
録音室	0	0	0	0	0	0
対面朗読室	4	4	0	9.5	9.5	0

日 祝	利用件数(件)			利用率(%)		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	11	14		21.2	26.9	
多目的研修室	12	10		23.1	19.2	
点字製作室	8	2		15.4	3.8	
録音室	1	1		1.9	1.9	
対面朗読室	1	1		1.9	1.9	

(3) 窓口満足度調査や利用団体懇談会を通し、拠点利用者へのサービス向上に努めた。

【窓口満足度調査】

実施期間	1月28日(木)～2月18日(木)
回答者	80人
主な意見	① コロナ禍での拠点利用人数制限の説明がよくわからなかった。ホームページの活用をしてほしい。 ② W i - F i が欲しい。 ③ いつも明るく対応してくれる。気持ちよく会場が利用できる。
改善宣言	① 施設利用について区社協ホームページにて掲載し広く知ってもらえるよう周知する。 ② W i - F i を導入。利用方法や接続方法についてわかりやすく周知する。 ③ 気持ちの良い挨拶をし、要望を受けやすい対応を心がけていく。

【利用団体懇談会】

日 程	3月10日(水) 1回目 10時～ 2回目 14時～
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	1回目：19団体 19人 2回目：10団体 10人
内 容	① 窓口満足度調査の報告について ② 令和3年度の旭区福祉保健活動拠点の利用について ③ その他 令和3年度ボランティア活動保険と行事用保険について W i - F i 利用について

(4) 拠点来館者におけるコロナ対策の実施

拠点利用における注意事項の掲示、窓口受付時の対応の強化など、コロナ対策を実施した。

- ・入り口2か所で手指の消毒喚起
- ・受付時の検温実施
- ・「利用事前チェック表」による三密防止とマスク着用要請、換気、消毒への対応協力依頼、参加者の把握依頼
- ・ポスター掲示による三密回避、感染防止の注意喚起

- ・排煙口やドアの開閉による換気
- ・共有部分の定期的な消毒
- ・各部屋の利用人数制限
- ・各部屋にサーキュレーター設置
- ・部屋の利用終了後、消毒の徹底
- ・受付、相談スペース、多目的研修室に呼気・唾液飛沫の飛散防止シート、アクリルボードを設置



<推進の柱2：安心して自分らしい生活ができる地域づくり>

支援を必要とする人が的確に支援へつながる仕組みをつくる

1 見守り体制の充実、孤立予防

深刻かつ見えにくい課題を抱える人たちを身近な地域内で発見し、地域課題として捉え、その解決に取り組む仕組みづくりを進めた。

相談機能の充実

- (1) 区役所や地域ケアプラザ、専門機関より受けた相談に対し、各機関と連携を図り解決に向けて対応した。また、各事業に限定されない総合窓口として、区社協内の各事業で把握した相談に対し、地区担当職員を通じて該当する地区の地区社協や地区民児協等へ内容を共有し、課題解決に向けた取組を進めた。

総合相談チームと地域支援チームの連携件数：29 件

- (2) 区社協全体で地域を支援していく体制を作るため、各相談業務の内容を地区別に集計し、地域の現状や課題を確認するとともに、日頃の地域支援の活動と結びつけながら、地域の皆さんと現状や課題を共有するため、総合相談チーム×地域支援チームによる「地域別☆地域の力を高めるミーティング」を月1回開催した。

- (3) 困窮者支援研修会、総合相談研修会を開催し、職員の相談対応力の強化を図った。

(P22 参照)

移動情報センターあさひの運営

移動情報センター運営（市受託金収入） 8,062 千円【7,842 千円】

ガイドボランティア事業（市補助金収入）2,930 千円【2,343 千円】

- (1) 障害児・者にとって生活上大きな課題となり得る「移動」について、情報を一元的に収集・発信するとともに、当事者やその家族からの相談に応じ、支援を行った。また相談に関して、関係機関との情報および支援の方向性の共有を図った。

【相談件数】269 件 <内訳>

障害種別	件数	障害種別	件数	相談内容	件数	相談内容	件数
身体障害	51	知的障害	104	通院	57	余暇	29
精神障害	25	重複障害	26	通学・通所	134	制度説明	35
その他(高齢)	63			その他	14		

休校・外出自粛による影響で、例年に比べ4月、5月の相談件数減。緊急事態宣言解除後に通院・通学の相談件数増。

(2)移動情報センター推進会議を開催した。

第1回	日 程	5月29日(金)
	場 所	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催
	人 数	—
	内 容	(1) 移動情報センターあさひ 相談内容の状況について ・令和元年度 年間相談内容の状況 ・ガイドボランティア事業アンケート調査結果 (2) ガイドボランティア活動状況について ・ガイドボランティア事業活動報告と登録状況 (3) 令和2年度移動情報センターあさひ年間計画について
	結 果	書面開催資料に関する意見照会書を送付した。
第2回	日 程	10月23日(金)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	16人
	内 容	(1) 移動情報センターあさひ 上半期受付状況について ・令和2年度 上半期受付状況について (2) 未解決・困難ケースの検討
	結 果	(1) 報告した。(2) 検討した。
第3回	日 程	2月19日(金)
	場 所	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催
	人 数	—
	内 容	(1) 移動情報センターあさひ 第1～第3四半期実績報告について (2) 運営およびコーディネートにおける課題と取組状況について (3) 令和3年度移動情報センターあさひ計画(案)について
	結 果	書面開催資料に関する意見照会書を送付した。

(3)ガイドボランティアの育成および活動支援を行い、ボランティアの確保に努め、移動支援をきっかけとした地域のつながりをつくるコーディネートを行った。

ガイドボランティア登録者	78人	前年度：98人
ガイドボランティア支援対象者	76人	前年度：81人

(4)ガイドボランティア交流会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送った。

(5) 新たなガイドボランティアの育成を目的に、ガイドボランティア入門講座を開催

	日 程	3月16日(火)
	場 所	今宿西地域ケアプラザ
	人 数	14人
	内 容	(1) ボランティア活動について (2) ガイドボランティア活動について

地域ぐるみで子育て支援

(1) 子ども食堂、学習支援など旭区内における子どもが参加できる居場所リストを作成し、ホームページ等で情報提供を行った。

(2) 区内子育て関係会議および学習会等に参加した。

【旭区子育て支援連絡会】

第1回	日 程	7月22日（水）
	場 所	書面開催
	内 容	(1) 令和2年度の新規構成団体等について (2) 代表、副代表の選出 (3) 令和2年度の活動内容 (4) 令和2年度の連絡会日程
第2回	日 程	10月2日（金） ※本会欠席
	場 所	区役所 新館 大会議室
	内 容	(1) 令和2年度各団体活動状況 (2) グループワーク
第3回	日 程	2月26日（金） ※本会欠席
	場 所	書面開催
	内 容	(1) 令和2年度各団体活動振り返り (2) コロナ禍の生活の中、親子の気になる変化 (3) 令和3年度学習会のテーマ

【旭区児童虐待・DV防止連絡会】

第1回	日 程	11月26日（木）
	場 所	区役所公会堂 講堂
	内 容	(1) 機関・団体紹介、情報交換 (2) 研修会「児童虐待対応における関係機関の役割、保護者対応」 講師：子どもの虹情報研修センター 吉澤 賢治氏

孤立防止や社会とのつながりづくり

(1) 区内農家から野菜の提供を受け、生活にお困りの世帯等への「食」を通じた生活支援を民生委員・児童委員と連携して行う「孤立させない！『つながり食料支援事業』」を令和2年11月より開始した。（支援件数：13世帯）

(2) 生活にお困りの方や地域から孤立しがちな方々を対象に、地区社協や民児協等と連携し、食料等無料頒布会や相談会を実施し、地域とのつながりづくりを進めた。

【ひとり親世帯向け旭区産野菜無料頒布会】

日 程	12月13日（日）
場 所	旭区福祉保健活動拠点
主 催	旭区民生委員児童委員協議会、旭区社協
人 数	ひとり親世帯 25組
内 容	①旭区産野菜の無料配布 ②お茶コーナー ③プチ工作コーナー ④各種相談機関チラシの配布



【生活にお困りの方向け食品等無料頒布会&生活相談会】

日 程	3月7日（日）
場 所	万騎が原ふれあい連合会館
共 催	万騎が原地区社協
人 数	生活にお困りの世帯等 25組
内 容	①万騎が原地区によるフードドライブ ②食品、日用品等の無料配布 ③相談コーナー



2 権利擁護事業の推進

旭区社協あんしんセンターの運営

（市社協委託料）（利用料収入）744千円【971千円】

コロナ禍においても継続して実施。面会不可の施設においては、相談員に仲介してもらい本人へ支援を行うなど、3密を避け、個々の状況に応じて対応した。

【権利擁護事業】

福祉サービスの利用や金銭出納などが困難な高齢の方や障害のある方を対象として、日常生活や金銭管理など幅広く権利擁護に関する相談を受けるとともに、下記のサービスを実施した。

①福祉サービス利用援助、定期訪問・金銭管理サービス

②預金通帳など財産関係書類等預かりサービス

内容		実績	前年度
初回相談件数(件)		56	68
サービス	定期訪問・金銭管理サービス件数(件)	88	99
	預かりサービス件数(件)	11	15
利用者総数(人)		88	99
新規利用者数(人)		8	20
終了利用者数(人) ※		19	15
活動件数(件)		5,648	5,686

※当年度内に契約し終了した利用者や、預かりサービスの終了者を含む

【市民後見人養成・活動支援事業】

横浜生活あんしんセンターと連携し、市民後見人育成および活動支援を行った。

(1)市民後見人登録者との面談の実施 2回

(2)旭区内市民後見人バンク登録者 3人(後見人受任者)

【権利擁護事業・成年後見制度普及啓発】

日程	内容・対象
2月25日(木)	権利擁護事業説明(主任ケアマネ新人研修@二俣川ケアプラザ)

【成年後見サポートネット全体会への参加】

日 程	10月30日(金)
場 所	区役所
内 容	①弁護士より民法改正について ②各専門職より候補者選びのポイント・身上監護について ③よこはま成年後見推進センターより

【市民後見サポートネットの開催および参加】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送った。

3 災害時における要援護者の支援体制の充実

災害ボランティア連絡会の活動支援

災害時のボランティアコーディネートを円滑に行うための啓発・人材育成・関係団体とのネットワーク構築を担う組織「旭区災害ボランティア連絡会」定例会や各訓練等に参加し、情報共有及び活動支援を行った。

災害ボランティア連絡会の「10周年事業DVD」の製作に協力し、災害ボランティア派遣の体制について、区内関係機関への周知の推進を図った。また福祉避難所訓練会や防災のつどいに参加した。

4 生活に困難を抱える方々への支援

おでかけ支援（送迎サービス）事業の推進

委託事業：（市社協委託料）（利用料収入） 3,293 千円【3,675 千円】

区社協独自事業：（利用料収入） 29 千円【573 千円】

旭区内の在宅の高齢者、難病患者、障害者でひとりでは公共の交通機関を利用した外出が困難な方を対象に、運転ボランティアとの協働により福祉有償運送（関神福第147号）として車椅子対応の車両での送迎を行った。

新型コロナウイルス感染防止対策の観点から車内が密になる軽自動車2台の利用を中止したため、運行可能な車が3台から1台となった。新型コロナウイルス感染後の重症化リスク回避のためボランティアの年齢制限（70歳未満）を設け、ボランティア、利用者にマスク着用と体調確認、検温と手指消毒の実施を徹底した。

【活動実績】

委託事業	登録者数	利用回数
	80 人	71 件
区社協独自事業	登録者数	利用回数
	37 人	33 件

【ボランティア登録者数】 11 人

【ボランティア向け研修】

日 程	①11月12日(木)②3月8日(月)
場 所	①旭区福祉保健活動拠点 ②保土ヶ谷区福祉保健活動拠点
人 数	①10人(うち旭区2人) ②1人
内 容	①安全運転研修(泉区社協と合同開催) 適性検査・講座・視力検査 ②安全運転研修(保土ヶ谷区社協と合同開催) 適性検査・講座・視力検査

(県社協受託金収入) 3,492 千円【3,485 千円】

要援護世帯への支援

12,024 千円(特例貸付)

生活課題等を抱えている要援護世帯等の支援を行った。また、当該事業の対象にならない世帯についても生活課題の解決に向け、他事業の紹介や他機関につなげるなどの支

援を行った。また、区社協内各事業とも情報を共有し、生活課題の解決に向けた必要なサービスへ繋げた。

(1) 生活福祉資金貸付事業

特例貸付（緊急小口、総合支援資金）を中心に、新型コロナウイルスの影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯を貸付につなげた。また、低所得世帯や高齢者・障害者世帯などの自立支援を図ることを目的に各種資金貸付につなげた。また、償還の相談対応や手続きに関する支援を行った。

生活福祉資金（特例貸付）	相談件数	県社協 送付件数	うち外国籍 の方の件数	貸付金額（円）
緊急小口資金	3,880	1,357	149	—
総合支援資金		1,018	149	—
総合支援資金 延長貸付		483	—	—
総合支援資金 再貸付		178	—	—
生活福祉資金	相談件数	貸付決定件数		貸付金額（円）
総合支援資金貸付	15	0		0
臨時特例つなぎ資金貸付	0	0		0
緊急小口資金貸付	25	4		400,000
福祉資金 （生活必需品・車両購入等）	189	8		3,363,000
福祉資金（教育支援資金）	500	36（辞退含む）		19,166,000
不動産担保型生活資金	13	0		0
合 計	742	48		22,929,000

※特例貸付決定額については、県社協からの通知が未達となっているため不明。

(2) 生活困窮者自立支援施策における区役所との連携

様々な事情により生活することが困難になっている方の状況に応じ、自立支援に向けて区役所、関係機関と連携をし、解決に向けた支援を行った。

連携会議の開催（区役所生活支援課）：3回

(3) 生活困窮者への緊急食糧等の支援

緊急的に食料が必要な方や、経済的に困窮され、安定した生活や自立した生活に戻するために意欲的に取り組んでいる世帯に向けて、その一助としてセカンドハーベストジャパン、フードバンクかながわと連携し、食料支援を実施した。

（食料支援の内容：お米、缶詰、インスタント麺など）

利用件数

セカンドハーベストジャパン：76件

フードバンクかながわ：66件

(4) 研修会の開催

①生活困窮者支援研修会

生活困窮者支援を通じて、本人や家族が取り巻く環境への働きかけと関係機関との連携、また地域とのつながりづくりの視点について学ぶため、旭区役所生活支援課（生活困窮者支援担当）との協働事業として開催した。

日 程	11月20日（金）14：30～17：00
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	26名 【旭区内地域ケアプラザ（地域包括支援センター職員等）、旭区社協第1種会員（旭区内ライフサポート事業実施施設）等】
テーマ	「孤立や生きづらさへのアプローチ ～一人ひとりの生活を支える支援と地域のつながりづくり～」 講師：文京学院大学 教授 中島 修氏
内 容	（1）コロナ禍における生活困窮者への支援状況 （2）講義 生活困窮者支援を通じた地域づくりとは 関係機関との連携による地域支援について 等



②総合相談研修会

複雑化・複合化した地域住民の支援ニーズに応じていくために社協における包括的な相談支援の体制作りについて内部研修会を開催した。

日 程	3月12日（金）
場 所	旭区福祉保健活動拠点 多目的研修室
人 数	20人
テーマ	「社協が行う相談支援について ～重層的支援体制整備事業を視野に入れて～」 講師：日本社会事業大学 社会福祉学部 准教授 菱沼 幹男氏
内 容	（1）ミニ相談会（地域支援班の地域支援） （2）講義 生活福祉資金から見てきたニーズとは 包括的相談支援体制の構築に向けて

(5)火災等の災害罹災世帯への見舞金を交付した。

○1件 10,000 円

(6)低所得者法外援護事業の実施

公的または私的な援護が受けられず一時的に困窮し、かつ緊急な援護を必要とする方に対し、低所得者法外援助費を支給した。

○8件 2,600 円

<推進の柱3：地域の取組で元気力アップ>

幅広い市民参加から地域福祉保健の取組が広がる仕掛けをつくる

1 意欲や経験を発揮できる場と出番づくり

ボランティアセンターの事業推進（市受託金）（福祉基金）（会費収入）353 千円【1,220 千円】

コロナ禍においても、地域のつながりを途切れさせず、活動を継続していけるよう、情報発信や団体への支援を行った。受入れ施設や関係機関との連携・ヒアリングを通し、活動先の確保や新規受入れ先の発掘を図った。

（1）ボランティア相談対応や調整、登録者情報の管理を行った。

【相談調整】

依頼件数	依頼件数(件)	紹介件数(件)	紹介人数(人)	調整数(回)
児童	2	1	0	16
障害	17	4	14	201
高齢	16	8	14	261
外国人	1	1	1	4
限定せず	2	1	1	26
その他	1	1	1	24
合計	39	16	31	532

【登録者数】

個人	374(うち新規 36)人 前年度：314 人
団体	153(うち新規 12)団体 前年度：133 団体

【ニーズ対応率】

R2	41%
R1	32%

（2）ボランティア活動の周知及び促進を図るため、「会員施設ボランティア募集一覧」を発行し、区社協ホームページに掲載した。また、子ども向けのボランティア啓発チラシを作成し、旭区役所福祉保健課経由で区内小学6年生、および、窓口に来館したボランティア希望の学生等に配布した。各種ボランティア講座については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を見送った。

【発行物】

名称	発行回数	発行部数	内容
会員施設ボランティア募集一覧	1 回 (2 月)	1,500 部	会員施設のボランティア募集一覧、ボランティア活動のポイント等
やってみようボランティア	1 回 (11 月)	2,000 部	ボランティアの特徴、ボランティア活動例、活動の心構え

（3）福祉関連物品の貸出・整備を行った。

名称	貸出件数
車イス	13
白杖	0

※アイマスク、高齢者擬似体験セット、点字器は新型コロナウイルス感染拡大防止のため貸出中止。

(4) 助成金に関する情報収集・情報提供

他団体の助成事業や民間の助成金等の情報収集を行い、情報提供を行った。

(5) ボランティアセンター運営委員会を開催した。

第1回	日 程	9月7日(月)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	7人
	内 容	(1) 令和元年度旭区ボランティアセンターの事業報告について (2) 令和2年度 旭区ボランティアセンターの取組について (3) コロナ禍におけるボランティア活動の現状及び今後について
	結 果	(1)(2) 説明した。(3) 協議した。
第2回	日 程	3月3日(水) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催
	場 所	—
	人 数	7人
	内 容	(1) 令和3年度旭区ボランティアセンターの事業計画(案)について (2) 令和2年度善意銀行寄付状況および令和3年度善意銀行配分計画について
	結 果	(1)(2) 承認された。

福祉教育（啓発）の推進

地域共生社会の実現に向けて、様々な世代が福祉への意識を高められるよう福祉教育に取り組んだ。

(1) 福祉教育への相談対応（P46 参照）

種別	依頼 件数 (件)	対応 件数 (件)	コマ数 (日)	調整数 (回)	延べ 参加者数 (人)	内容
小学校	9	7	9	213	921	視覚障害者による講話 他
中学校	2	2	2	79	252	認知症理解 他
高校	2	1	1	18	10	ボランティア、区社協について
合計	13	10	12	310	1,173	

※企業、地域からは依頼なし。

《協力団体》順不同

横浜市キャラバンメイト旭区ひまわりの会、横浜市聴覚障害者協会、View-Net 神奈川、旭区おりしす会、双葉会支援グループ、横浜市立ろう特別支援学校、木々の会メゾンあかしゅ、地域ケアプラザ等

(2) 福祉教育検討会の開催

地域、学校、施設等の関係者と共に、地域共生社会の実現につながる福祉教育の意義や、旭区における福祉教育のあり方を検討した。

第1回	日 程	10月19日(月)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	10人
	内 容	(1) 参加者自己紹介 (2) 検討会趣旨説明「地域共生社会における福祉教育とは」 (3) 地域共生社会の実現につながる福祉教育の実践に向けて
	結 果	(2) 説明した。(3) 協議した。

※第2回は2月8日に予定していたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

障害児・者が安心できる暮らしを目指した支援

障害児・者が住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、関係機関と連携し、その実現を目指した。

(1) 旭区地域自立支援協議会への参加

【各会議への参加】

会議名	日程
事務局会議	①6月9日(火) ②7月14日(火) ③8月4日(火) ④9月8日(火) ⑤10月13日(火) ⑥11月10日(火) ⑦12月8日(火) ⑧1月12日(火) ⑨2月9日(火) ⑩3月9日(火)
代表者会議	①8月14日(金) ②1月8日(金)
定例会	①7月29日(水) ②10月28日(水) ③1月20日(水)
精神連絡会	①10月6日(火) ②2月16日(火) ③3月24日(水)
旭区地域生活支援 フォーラム実行委員会	①8月3日(月) ②8月18日(火) ③9月11日(火) ④9月23日(水) ⑤10月26日(月) ⑥11月26日(木)

【あっぱれフェスタの共催】

(共同募金) 80千円【80千円】

区内の障害者作業所の周知を目的として、オンラインにてパフォーマンスの映像配信、自主製品のインターネット販売等を行った。

日 程	2月15日(月)～3月19日(金)
場 所	オンライン開催
内 容	・作業所製品販売(11店舗で合同ネットショップを営業) ・D-1グランプリ(障害当事者による舞台発表)

【旭区地域生活支援フォーラムへの共催】

障害理解への周知を目的に講演と事例発表・シンポジウムを行った。

日 程	12月13日(日)
場 所	Zoomにてオンライン開催
内 容	① 基調講演「障害者の8050、ひきこもりの8050」 講師: 又村 あおい 氏 (全国手をつなぐ育成会連合会常務理事兼事務局長) ② シンポジウム～旭区の支援現場からの報告～

企業の社会貢献活動

地域における見守り活動を進めるために、地区民生委員児童委員協議会と読売新聞、朝日新聞の各販売店が連携し、緊急時に連絡を取り合う体制を継続した。

地域団体	新聞販売店
二俣川ニュータウン地区民児協	読売新聞二俣川サービスセンター 読売新聞三ツ境サービスセンター 読売新聞川井都岡サービスセンター A S A（朝日新聞）三ツ境北部店
若葉台地区民児協	読売新聞川井都岡サービスセンター
笹野台地区民児協	A S A（朝日新聞）三ツ境北部店

善意銀行事業

区民・団体・企業等からの寄付（金品・物品）を受け付けた。配分にあたっては、ボランティアセンター運営委員会に諮り、配分を行った。

※金品寄付者の詳細については P47 参照。

【寄付金の受入】

繰越金(円)	寄付件数 (件)	寄付額(円)	配分額(円)	戻入額(円)	配分残額 (円)
6,156,241	25	663,950	1,934,400	220,000	5,107,791

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を中止したふれあい助成金配分団体より 222,000 円の戻入があった。

【寄付金の配分】

	用途	件数	金額(円)	配分先
1	ふれあい助成金	25	1,155,400	障害児者支援区分、福祉のまちづくり区分
2	ふれあい助成金 激変緩和措置	11	200,000	区社協会員が対象。ふれあい助成金の制度変更に伴い、同じ事業で助成額が減額となる団体
3	地域の見守り支え あい助成金	11	529,000	地域での訪問活動や子ども・地域食堂、居場所づくり等、気になる子ども、高齢者、世帯等に対し、見守り活動を実施する団体
4	委員長専決配分	1	50,000	旭区障害児者団体連絡会

【物品の受入】

No	寄付者名	寄付品	配分先
1	神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部	理容福祉券	障害当事者：171 件
2	NPO 法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ NALC	手作り布マスク 200 枚	区内障害施設・障害団体：7 団体

3	NPO 法人 横浜希望が丘 コミュニティカフェ	手作り布マスク 100 枚	区内障害施設・障害団体：2 団体
4	おべんとうひよどり 他 1 件	食品（缶詰、クッキー、うどん他）	区内子ども食堂、学習塾：2 団体

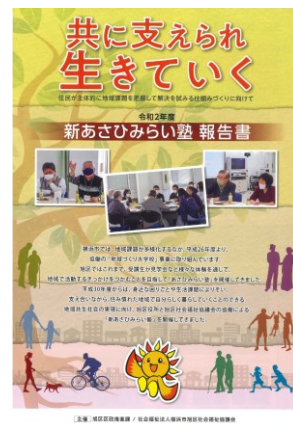
新あさひみらい塾の開催

（負担金収入）668 千円【900 千円】

身近な困りごとや生活課題に寄り添い、支えあいながら住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくことのできる社会の実現に向けて、区民が地域活動における認識を深めることを目的に実施した。（旭区区政推進課との協働事業）

内容等（受講者 17 人：10 地区の連合自治会長、地区社協からの推薦者）

回	日時	内容・講師等	受講者数
1	11 月 11 日（水）	開校式 講義：「地域共生社会における日ごろの見守り活動と防災について」 演習：自己紹介、受講者同士のディスカッション 【講師】社会福祉法人中央共同募金会 常務理事 渋谷 篤男氏	16
2	12 月 8 日（火）	実践者から学ぶ①「羽沢南町内会の取り組み紹介」 【ゲストスピーカー】 羽沢南町内会 会長 和田 勝巳氏 羽沢南町内会 副会長 石幡 邦雄氏 羽沢南町内会 副会長 相田 忍氏	15
3	1 月 15 日（金）	実践者から学ぶ② 「震災後の街づくり～地域のつながりの再構築～」 ※オンラインと会場の併用開催 【ゲストスピーカー】 社会福祉法人 釜石市社会福祉協議会 地域福祉課 生活ご安心センター 菊池 亮氏 社会福祉法人 中央共同募金会 常務理事 渋谷 篤男氏 神奈川区羽沢南町内会 会長 和田 勝巳氏	39
4	2 月 15 日（月）	講義：「地域共生社会における日頃の見守り活動と防災」 演習・振り返り 【講師】社会福祉法人中央共同募金会 常務理事 渋谷 篤男氏	15



法人運営

1 区社協の基盤整備の推進

(1) 正会員会員数 248 施設・団体 (入会：0、退会：7)

【会員数】

種別	会員数	種別	会員数
第1種(施設)	81	第6種(ボランティア団体)	48
第2種(民児協)	20	第7種(福祉団体)	25
第3種(地区社協)	19	第8種(行政)	4
第4種(自治会・町内会)	19	第9種(学識)	2
第5種(当事者団体)	30	合計：248	

(2) 賛助会費の募集

各地区連合自治会町内会の協力のもと各地区社協と協働で実施した。

○総額：5,180,570 円 (19 地区総額・目安額：1 世帯 70 円)

(3) 福祉基金の積立・活用

事業における財源を確保するため、福祉基金の積立と運用を行った。

○基本原資

公共債	30,000,000
公共債預り金	10,000,000
定期・定額貯金	25,955,203
普通預金	11,800,000
合計	77,755,203

○運用収入

福祉基金運用収入	756,029
----------	---------

(4) 市民からの提案、苦情解決への対応

市民からの提案 0 件 苦情 0 件

2 理事会・評議員会・分科会・委員会の開催

【理事会】6 回

第 1 回	人 数	11 人(定数：11 人)、監事 3 人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため「決議の省略」にて実施。
	内 容	(1) 横浜市旭区社会福祉協議会 令和元年度事業報告及び収支 出決算について (2) 評議員選任・解任委員会委員の選任について (3) 評議員選任・解任委員会の招集について (4) 評議員選任候補者の推薦について

		(5) 定時評議員会の招集について
	結 果	6月15日、全員一致により承認された。
第2回	日 程	7月27日(月)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	理事6人(定数:11人)、監事2人
	内 容	(1) 新型コロナウイルス禍における令和2年度旭区社会福祉協議会事業の取組方針等について
	結 果	(1)承認された。
第3回	日 程	9月9日(水)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	理事10人(定数:11人)、監事2人
	内 容	(1) 令和2年度 横浜市旭区社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算(案)について (2) 評議員選任・解任委員会の招集について (3) 評議員選任候補者の推薦について (4) 評議員会の招集について 福祉基金の運用について
	結 果	(1)～(4)承認された。
第4回	日 程	11月20日(金)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	11人(定数:11人)、監事2人
	内 容	(1) 旭区社会福祉協議会 社会福祉功労表彰審査について
	結 果	(1)承認された。
第5回	人 数	11人(定数:11人)、監事3人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため「決議の省略」にて実施。
	内 容	(1) 福祉基金設置規程の一部改正について (2) 評議員選任・解任委員会運営規則の一部改正について (3) 令和2年度横浜市旭区社会福祉協議会 一般会計収入支出補正予算(案)について (4) 評議員会の招集について (5) 令和4年度赤い羽根共同募金地域福祉事業費ならびに令和3年度年末たすけあい援護費使途計画について
	結 果	2月2日、全員一致により承認された。
第6回	日 程	3月15日(月)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	10人(定数:11人)、監事3人
	内 容	(1) 令和3年度 横浜市旭区社会福祉協議会事業計画(案)および収入支出予算(案)について (2) 令和3年度 役員等賠償補償(損害責任保険)の加入内容について (3) 評議員会の招集について
	結 果	(1)～(3)承認された。

【評議員会】 4回

第1回	人 数	評議員 23 人(定数：23 人) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため決議の省略にて実施。
	内 容	(1) 横浜市旭区社会福祉協議会 令和元年度事業報告および収入支出決算について
	結 果	6 月 29 日、全員一致により承認された。
第2回	日 程	9 月 28 日 (月)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	評議員 18 人(定数：23 人)、監事 2 人
	内 容	(1) 令和 2 年度 横浜市旭区社会福祉協議会 一般会計収入支出補正予算(案)について
	結 果	(1) 承認された。
第3回	人 数	評議員 23 人(定数：23 人) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため決議の省略にて実施。
	内 容	(1) 経理規程の一部改正について (2) 令和 3 年度 横浜市旭区社会福祉協議会事業計画 (案) および収入支出予算 (案) について
	結 果	2 月 19 日、全員一致により承認された。
第4回	日 程	3 月 23 日(火)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	評議員 18 人(定数：23 人)、監事 2 人
	内 容	(1) 経理規程の一部改正について (2) 令和 3 年度 横浜市旭区社会福祉協議会事業計画 (案) および収入支出予算 (案) について
	結 果	(1) (2) 承認された。

【評議員選任・解任委員会】 2回

第1回	日 程	6 月 16 日(火)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	3 人(定数：4 人)
	内 容	評議員の選任について
	結 果	承認された。
第2回	日 程	9 月 17 日(木)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	4 人(定数：4 人)
	内 容	評議員の選任について
	結 果	承認された。

【監事監査会】 各監事対面にて実施

日 程	6 月 3 日(水)、6 月 4 日 (木)
-----	------------------------

場 所	旭区福祉保健活動拠点、偕恵シグナル、旭区役所
人 数	3 人
内 容	(1) 令和元年度の業務監査 (2) 令和元年度の財務監査 (3) 監事候補者の推薦について
結 果	(1)～(3) 承認された。

【業者選定委員会】 1 回

第 1 回	日 程	1 月 29 日(金)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	3 人
	内 容	(1) 令和 3 年度 旭区福祉保健活動拠点「ぱれっと旭」清掃委託契約について (2) 令和 3 年度 広報紙「あさひいきいき宣言」の発行に伴う印刷業務について (3) 令和 3 年度 会計システム及び資産管理システム賃貸・保守契約について
	結 果	(1)～(3)承認された。

【民生委員・児童委員分科会】

今年度は会長会だけでなく正副会長、監事、主任児童委員代表が参加する企画委員会から 1 層生活支援コーディネーターが参加し、事業について企画段階から関わった。

(区民生委員児童委員協議会会長会は事務局長と 1 層生活支援コーディネーターが出席)

第 1 回	日 程	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	場 所	—
	人 数	—
	内 容	—
	結 果	—
第 2 回	日 程	書面開催
	場 所	—
	人 数	—
	内 容	(1) 令和 2 年度共同募金「赤い羽根街頭募金」の日程について (2) 令和 2 年度ひとり親暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業の実施について
	結 果	(1)、(2) 書面送付した。
第 3 回	日 程	6 月 11 日(木)
	場 所	区役所 新館 大会議室
	人 数	20 人
	内 容	(1) 令和 2 年度共同募金「赤い羽根共同募金」の日程について

		(2)生活福祉資金「償還残高のお知らせ」について
	結 果	(1)、(2)説明した。
第4回	日 程	7月9日(木)
	場 所	区役所外部会議室
	人 数	20人
	内 容	(1)生活福祉資金緊急小口資金(特例貸付について) (2)安全に「個別支援活動」を行うために
	結 果	(1)、(2)説明した。
第5回	日 程	9月10日(木)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	20人
	内 容	(1)令和2年度 生活福祉資金 新任民生委員研修会の参加依頼について
	結 果	(1)説明した。
第6回	日 程	10月8日(木)
	場 所	区役所 新館 大会議室
	人 数	20人
	内 容	(1)コロナ禍における生活福祉資金の対応について (2)平成31年度、令和元年度「生活福祉資金借受世帯支援記録票整備状況報告について (3)令和2年度赤い羽根共同募金(街頭募金)について (4)孤立させない!「つながり食料支援事業」について (5)令和2年度新あさひみらい塾受講生について
	結 果	(1)～(5)説明した。
第7回	日 程	11月10日(火)
	場 所	区役所 新館 大会議室
	人 数	20人
	内 容	(1)ひとり親世帯向け旭区産野菜無料頒布会について
	結 果	(1)説明した。
第8回	日 程	12月10日(木)
	場 所	区役所 公会堂1、2号会議室
	人 数	20人
	内 容	(1)令和2年度民生委員活動費(生活福祉資金)の交付について
	結 果	(1)説明した。
第9回	日 程	書面開催
	場 所	—
	人 数	—
	内 容	(1)令和3年度「第17回旭区チャリティーゴルフ大会」ボランティア依頼について (2)ひとり親世帯向け 旭区産の無料頒布会の報告について

	結 果	(1)、(2)説明した。
第 10 回	日 程	書面開催
	場 所	—
	人 数	—
	内 容	(1)孤立させない！「つながり食料支援事業」について
	結 果	(1)説明した。

【地区社会福祉協議会分科会】

(1) 分科会

グループワーク等を通じて、各地区の取組状況について意見交換・情報交換を行った。

第 1 回	日 程	7月29日(水) ①13:00～14:30 ②15:00～16:30
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	①9地区11名 ②10地区16名
	内 容	議題 (1) 令和2年度 地区社協分科会年間予定について (2) 令和2年度 地区社協役員研修会について (3) 令和2年度 地区社協状況書について (4) 令和2年度 助成金申請団体一覧について (5) 令和2年度 地区社協検討会のメンバーについて (6) 令和元年度 新あさひみらい塾の報告について 情報交換 (1) 新型コロナウイルスの影響後における地域福祉活動について
	結 果	議題(5)選出した。 (1)(2)(3)(4)(6)説明した。
第 2 回	日 程	10月29日(木) ①13:00～14:30 ②15:00～16:30
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	①11地区20名 ②8地区14名
	内 容	議題 (1)「見守り・支えあい活動における地区社協の役割」 講師：横浜創英大学 こども教育学部 平野友康氏 (2) 地区社協における見守りの仕組みづくりの導入に向けて (3) 地区社協ワーキンググループでの話し合いの結果について (4) 地区社協で行う見守り活動について(案) (5) コロナ禍における地区社協活動の新しい動きについて 意見交換

第3回		「見守りの仕組みづくりについての意見交換
	結 果	(2)～(5) 説明した。
	日 程	1月22日(金) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	場 所	—
第4回	内 容	—
	日 程	3月25日(木) ①13:00～14:30 ②15:00～16:30
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	①9地区17名(生活支援コーディネーター 5名) ②10地区17名(生活支援コーディネーター 3名)
	内 容	議題 (1) 次期役員・委員の選出について (2) 令和3年度 地区社協助成金について (3) 令和3年度 地区社協分科会のスケジュールについて (4) 「あなたのまちで、やさしさをひろげるために ～思いやり・つながり・支えあう～」資料周知 (5) 万騎が原地区社会福祉協議会 生活にお困りの方向け 「食品等無料頒布会および生活相談会」のご報告 (6) 地区社協見守りワーキンググループのご報告について 意見交換 「見守りの仕組みの手引きについての意見交換」
	結 果	(1)選出された。 (2)～(6) 説明した。



(2) ワーキンググループ

地区社協のネットワークを活かした見守り活動の推進のため、新たにワーキンググループを設け、検討を進めた。

第1回	日 程	6月8日(月)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	6人(6地区)
	内 容	・新型コロナウイルス感染拡大時の地域での見守りの状況について

		・全国の先進事例にみる「見守りの仕組み」のポイント（神奈川区、沼津市、北九州市、札幌市）
第2回	日 程	7月7日（木）
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	6人（6地区）
	内 容	・見守りの取り組み事例から ・あんしんキーパーについて ・旭区での見守りの仕組みづくりについて ・民生委員の関わりについて
第3回	日 程	8月6日（木）
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	6人（6地区）
	内 容	・見守りの仕組みにおける見守り活動員について ・見守り活動員の活動内容について
第4回	日 程	9月8日（木）
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	6人（6地区）
	内 容	・見守り活動の対象者について ・見守り活動員の活動内容について
第5回	日 程	10月16日（金）
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	6人（6地区）
	内 容	・見守りの仕組みのイメージについて
第6回	日 程	11月9日（月）
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	6人（6地区）
	内 容	・見守り活動の対象者について ・見守り活動の方法について
第7回	日 程	12月5日（金）
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	6人（6地区）
	内 容	・見守り活動の対象者と方法について ・見守り活動員の役割と連携 ・地区社協と見守り活動チームの役割と連携
第8回	日 程	2月8日（月）
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	6人（6地区）
	内 容	・見守りの仕組みのてびき（案）について①
第9回	日 程	2月8日（月）
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	6人（6地区）

	内 容	・見守りの仕組みのてびき（案）について②
--	-----	----------------------

【地域組織分科会】

会議に出席し、各地区連合会長との連携を深めた。

（区連合町内会自治会連絡会定例会への事務局長が出席）

第1回	日 程	4月17日(金)
	場 所	区役所 新館 大会議室
	人 数	19人
	内 容	(1)令和2年度日本赤十字社会員増強運動(会員募集)及び旭区更生保護協会会費の納入について (2)広報誌「あさひいきいき宣言(旭区社協だより)」の配布及び配布謝金の免除について (3)令和2年度献血ルーム活動中止連絡および献血ルーム協力費送金について
	結 果	(1)(2)について依頼した。(3)について情報提供した。
第2回	日 程	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。書面により情報提供
	内 容	(1)第10回きらっとあさひ福祉大会開催日程について (2)第4期旭区地域福祉保健計画(きらっとあさひプラン)の地区別計画策定説明会の延期について
	結 果	情報提供した。
第3回	日 程	6月18日(木)
	場 所	旭公会堂講堂
	人 数	19人
	内 容	(1)令和2年度共同募金運動へのご協力について
	結 果	依頼した。
第4回	日 程	7月17日(金)
	場 所	旭公会堂講堂
	人 数	19人
	内 容	(1)第4期旭区地域福祉保健計画(きらっとあさひプラン)の地区別計画策定説明会の開催日程について (2)広報紙「あさひいきいき宣言104号」の戸別世帯配布について
	結 果	(1)について情報提供した。(2)について依頼した。
第5回	日 程	8月18日(火)
	場 所	区役所 新館 大会議室
	人 数	19人
	内 容	依頼および説明事項なし
	結 果	なし
第6回	日 程	9月18日(金)
	場 所	旭公会堂講堂
	人 数	19人
	内 容	(1)令和2年度共同募金運動へのご協力について

		(2)第10回(令和2年度)きらっとあさひ福祉大会開催の中止について (3)令和2年度新あさひみらい塾受講生の推薦について
	結 果	(1)(3)について依頼した。(2)について情報提供した。
第7回	日 程	10月19日(月)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	19人
	内 容	(1)第4期旭区地域福祉保健計画(きらっとあさひプラン)素案に係る 区民意見募集(パブリックコメント)の実施について (2)広報紙「あさひいきいき宣言105号」の戸別世帯配布について
	結 果	依頼した。
第8回	日 程	11月18日(水)
	場 所	区役所 新館 大会議室
	人 数	19人
	内 容	(1)新あさひみらい塾オープン講座の開催について
	結 果	情報提供した。
第9回	日 程	12月18日(金)
	場 所	区役所 新館 大会議室
	人 数	19人
	内 容	依頼及び説明事項なし
	結 果	なし
第10回	日 程	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。書面により情報提供。
	内 容	(1)第4期旭区地域福祉保健計画(きらっとあさひプラン)の地区別計画の原稿提出の延期について
	結 果	情報提供した。
第11回	日 程	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。書面により情報提供。
	内 容	(1)令和3年度共同募金運動への協力依頼について (2)社会福祉協議会賛助会費のご協力へのお礼及び令和3年度の募集について (3)令和3年度日赤献血受付活動へのご協力について (4)あさひいきいき宣言106号の配布について (5)旭区社会福祉協議会社会福祉功労表彰について
	結 果	(1)(4)について依頼をした。(2)(3)(5)について情報提供した。
第12回	日 程	3月18日(木)
	場 所	旭公会堂講堂
	人 数	19人
	内 容	(1)令和3年度日本赤十字社会費募集について (2)令和2年度日本赤十字社会費募集結果報告について (3)更女だより第8号の発行について (4)「保護司だより旭」36号の発行について
	結 果	(1)について依頼した。(2)(3)(4)について情報提供した。

4 社会福祉士実習生受入

未来の社会福祉人材の養成のために、社会福祉士援助実習を受け入れた。
目白大学 1人（7月31日（金）～9月9日（水）のうち24日間）

5 地域福祉関連団体との連携

（1）本会事業の目的を達成するために、申請のあった各団体活動に対し、共催・後援した。
（共催：0件、後援：2件）

	項目	事業名	主催者名	内容
1	後援	第43回住宅デー	神奈川土建 一般労働組合	期日：6月14日（日） 場所：中希望が丘くすのき公園、 都岡町内会館、他 内容：チャリティイベント
2	後援	'20 横浜旭ジャズまつり	旭ジャズまつり 実行委員会	期日：7月26日（日） 場所：こども自然公園 野球場 内容：チャリティイベント

※いずれも新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

（2）次の7団体の事務局を担った。

- ①共同募金会旭区支会 ②旭保護司会
- ③旭区更生保護女性会 ④旭区遺族会 ※令和3年3月31日を以て解散されました
- ⑤旭区更生保護協会
- ⑥日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部旭区地区委員会
- ⑦旭区チャリティーゴルフ大会実行委員会

令和2年度 あさひふれあい助成金等 助成団体一覧

【あさひふれあい助成金 要援護者支援区分】

総額(円): 7,704,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	さえずり	集いの場活動	400,000
2	いきいき	集いの場活動	300,000
3	子育て応援サークル スタイルきっず	集いの場活動	180,000
4	サロンあさひ	集いの場活動	全額辞退
5	えくぼ	集いの場活動	180,000
6	みんなの集いの場	集いの場活動	120,000
7	グループきずな	集いの場活動	90,000
8	まきラボ子ども文庫	集いの場活動	80,000
9	フリーハウスかわい「わいが家」	集いの場活動	80,000
10	サロンみんなあつまれ！	集いの場活動	50,000
11	みんさちcafé	集いの場活動	40,000
12	お茶べりサロン さんさん	集いの場活動	80,000
13	みなとの茶店	集いの場活動	80,000
14	旭北第一ふれあい昼食会	集いの場活動	80,000
15	旭北第2ふれあい昼食会	集いの場活動	80,000
16	旭中央つぶらの会	集いの場活動	80,000
17	今宿東町子育てサロン コアラちゃん	集いの場活動	全額辞退
18	白根ふれあい昼食会	集いの場活動	80,000
19	今宿西町寿々の会	集いの場活動	80,000
20	希望が丘竹の会	集いの場活動	80,000
21	きっさプルメリア	集いの場活動	80,000
22	第4鶴の会	集いの場活動	80,000
23	第2鶴の会	集いの場活動	80,000
24	今宿東町老人昼食会	集いの場活動	80,000
25	萌ぎ会	集いの場活動	80,000
26	第3鶴の会	集いの場活動	80,000
27	はなみずきの会	集いの場活動	80,000
28	旭北第4ふれあい昼食会	集いの場活動	80,000
29	今宿すみれ会	集いの場活動	80,000
30	第1鶴の会	集いの場活動	80,000
31	みなまきよこ連	集いの場活動	80,000
32	笹野台昼食会	集いの場活動	80,000
33	ワンコインカフェ 吹上の会	集いの場活動	80,000
34	今宿地区中学生ボランティア活動実行委員会	集いの場活動	80,000
35	希望が丘希望が丘南地区子育て応援ネットの会(KKネットの会)	集いの場活動	80,000
36	万騎が原おたのしみ会	集いの場活動	80,000
37	左近山第二ほのぼの会	集いの場活動	80,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
38	サロン「散歩道」	集いの場活動	80,000
39	今宿東町お茶のみサロンひなた	集いの場活動	80,000
40	ほほえみ会	集いの場活動	80,000
41	サロン ふるさと	集いの場活動	80,000
42	おふくろの味サロン	集いの場活動	80,000
43	かるがもサロン	集いの場活動	80,000
44	左近山文化クラブ	集いの場活動	80,000
45	希望が丘 松の会	集いの場活動	80,000
46	県営今宿すずらん会昼食会	集いの場活動	80,000
47	若葉台北自治会高齢者見守り活動「サロン若北」	集いの場活動	80,000
48	親子サロン	集いの場活動	75,000
49	笹野台子育てサロン	集いの場活動	70,000
50	旭南部地区子育て地域サロンMaMa♡Kids	集いの場活動	70,000
51	つづきの会	集いの場活動	64,000
52	第二あゆみ会	集いの場活動	50,000
53	旭北地区子育て支援運営委員会(A2ライン)	集いの場活動	50,000
54	サロン親睦	集いの場活動	全額辞退
55	子育てサロン笑顔	集いの場活動	50,000
56	子育てサロンぽっかぽか	集いの場活動	40,000
57	二俣川ニュータウン地区子育てサロン わいわいクラブ	集いの場活動	40,000
58	すずらん会	集いの場活動	40,000
59	旭南部地区お茶のみサロン ほっと	集いの場活動	35,000
60	かみふうせん	集いの場活動	30,000
61	桐が作 ほっと	集いの場活動	30,000
62	ちょこっと応援団	家事・生活支援活動	160,000
63	旭ふれあいコール	家事・生活支援活動	100,000
64	若葉台なんでも相談	家事・生活支援活動	50,000
65	「ちょこっとボランティアかわいい」	家事・生活支援活動	80,000
66	キャッツハンズクラブ	家事・生活支援活動	50,000
67	リトルサービス	家事・生活支援活動	50,000
68	ボランティア配食グループ虹	配食活動	300,000
69	おべんとうひよどり	配食活動	300,000
70	わかたけの会	配食活動	160,000
71	宅配ほほえみ	配食活動	160,000
72	お元気会	配食活動	80,000
73	特定非営利活動法人 あさひ	送迎活動	350,000
74	NPO法人いっぱい若葉台事業所 のこのこ会	送迎活動	350,000
75	特定非営利活動法人 たちばな福祉会	送迎活動	300,000
76	特定非営利活動法人オールさこんやま	送迎活動	250,000

【あさひふれあい助成金 障害児者支援区分】

総額(円): 890,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	NPO法人クラブハウス二俣川 (精神障がい者就労支援事業所アレビアン)	障害児者支援活動・当事者活動	100,000
2	特定非営利活動 打鼓音	障害児者支援活動・当事者活動	100,000
3	なかよし支援グループ	障害児者支援活動・当事者活動	100,000
4	アーティスティックスイミングクラブ(シンクロ)	障害児者支援活動・当事者活動	全額辞退
5	ウキウキアクアクラブ	障害児者支援活動・当事者活動	全額辞退
6	ハーモニカクラブあすなろ	障害児者支援活動・当事者活動	30,000
7	おりしす会	障害児者支援活動・当事者活動	80,000
8	きらっとハピネス	障害児者支援活動・当事者活動	50,000
9	失語症旭区友の会 言喜の会	障害児者支援活動・当事者活動	40,000
10	Blue Lace〜ぶるーれーす〜	障害児者支援活動・当事者活動	60,000
11	ひまわり会	障害児者支援活動・当事者活動	60,000
12	ひよこの会	障害児者支援活動・当事者活動	60,000
13	トット&ポッポ	障害児者支援活動・当事者活動	60,000
14	旭区地域訓練会	宿泊・日帰りハイク活動	50,000
15	NPO法人もみの木もみの木第一作業所	宿泊・日帰りハイク活動	全額辞退
16	旭区在宅介護者 みなわかい	宿泊・日帰りハイク活動	50,000
17	朗読録音ボランティア なみの会	視覚・聴覚障害者支援活動	50,000
18	旭区点訳ボランティア てんとうむし	視覚・聴覚障害者支援活動	全額辞退

【あさひふれあい助成金】福祉のまちづくり区分

総額(円): 860,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	ホッと・ミュージック	施設・病院支援ボランティア	40,000
2	旭区ひまわりの会	福祉に関する啓発・勉強会・公開講座	40,000
No.	団体名	申請区分	助成額(円)
3	日本語ボランティア「虹の会」	外国人支援	40,000
4	PCどりーむ	PC講座	40,000
5	つながりの丘	施設・病院支援ボランティア	40,000
6	なかおバタフライガーデンの会	自然環境活動	40,000
7	若葉台リンク	セルフヘルプグループ	40,000
8	万騎が原支えあいネットワークかけはしねっと	地域住民交流	40,000
9	ぱれっと旭おもちゃ病院	おもちゃドクター	40,000
10	旭区精神障害者家族会(あけぼの会)	セルフヘルプグループ	40,000
11	コーヒーボランティア ペリゴール	施設・病院支援ボランティア	40,000
12	男の元気食堂	地域住民交流	40,000
13	若葉台市民図書館SOLAおはなし会	本の読み聞かせ	40,000
14	特定非営利活動法人 神奈川県視覚障害者情報雇用福祉ネットワーク	福祉に関する啓発・勉強会・公開講座	40,000
15	レッツ・ハーモニカクラブ	施設・病院支援ボランティア	40,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
16	表現のチカラ	福祉に関する啓発・勉強会・公開講座	40,000
17	ぼろろん座	施設・病院支援ボランティア	40,000
18	旭・日本語ボランティア	外国人支援	40,000
19	JUMP★UP-KIDS	子育て支援事業	40,000
20	歌うてまり会	施設・病院支援ボランティア	40,000
21	親子グループ遊	子育て支援事業	40,000
22	ちくちく あさひ	地域住民交流	20,000

【あさひふれあい助成金 健康増進区分】

総額(円): 0

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	Musica 4 Tune	施設等を訪問する特技ボランティア	全額辞退
2	フォークダンスわかば	施設等を訪問する特技ボランティア	全額辞退
3	正和会	健康増進事業	全額辞退

【あさひふれあい助成金 新規立ち上げ団体】

総額(円): 80,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	サロン さくら会	要援護者支援区分(集いの場)	40,000
2	プログラミングこどもサロン	要援護者支援区分(集いの場)	40,000

【旭区社協独自助成金 激変緩和措置】

総額(円): 200,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	サロンあさひ	要援護者支援区分	全額辞退
2	旭北第一ふれあい昼食会	要援護者支援区分	20,000
3	白根ふれあい昼食会	要援護者支援区分	20,000
4	第4鶴の会	要援護者支援区分	20,000
5	今宿東町老人昼食会	要援護者支援区分	20,000
6	旭北第4ふれあい昼食会	要援護者支援区分	20,000
7	萌ぎ会	要援護者支援区分	20,000
8	はなみずきの会	要援護者支援区分	20,000
9	万騎が原おたのしみ会	要援護者支援区分	20,000
10	希望が丘松の会	要援護者支援区分	20,000
11	かるがもサロン	要援護者支援区分	20,000

【旭区社協独自助成金 地域の見守り支えあい活動】

総額(円): 529,000

	団体名	実施事業	助成額(円)
1	コミュニティーサークル結	地域住民の交流の場	50,000
2	子ども青空キッチン「グリーン・グリーン」	子ども食堂	30,000

	団体名	実施事業	助成額(円)
3	らんらん食堂	子ども食堂	50,000
4	スノードロップ	地域住民の居場所	50,000
5	若葉台第一自治会	昼食会	50,000
6	若葉台中央自治会 お茶のみサロン会	サロン	50,000
7	ミーミーの部屋	サロン	50,000
8	市沢地区民生委員児童委員協議会	防災グッズの配布を通した見守り事業	50,000
9	川井地区民生委員児童委員協議会	75才以上の1人暮らし高齢者の安否確認を兼ねて、物品配布	49,000
10	カレーハウス笹野台	地域食堂	50,000
11	若葉台地区社会福祉協議会	移動サロン	50,000

【旭区地域福祉活動団体助成】

総額(円): **554,000**

No.	団体名	事業名	助成額(円)
1	旭区老人クラブ連合会	各種行事	450,000
2	旭区子ども会育成連絡協議会	広報紙発行	104,000

令和2年度 福祉教育実施状況

福祉教育【学校に向けたもの】

No	実施月	学校名	対象	内容	協働先
1	8月	二俣川看護福祉高等学校	3年生	社会福祉協議会の役割について 地域とボランティアの関わりについて	旭区社協ボランティアセンター職員
2	11月	白根小学校	2年生	聴覚障害者理解	横浜市聴覚障害者協会
3	11月	白根小学校	4年生	視覚障害者理解	View-Net神奈川
4	12月	万騎が原小学校	1～2年生	聴覚障害者理解	横浜市立ろう特別支援学校 教員
5	12月	左近山小学校	5年生	動画による高齢者理解(左近山に住む高齢者の困りごと～地域の人はどう支える?～)	左近山地区のみなさん 左近山地域ケアプラザ
6	12月	今宿南小学校	3～4年	視覚障害者理解	View-Net神奈川
7	12月	白根小学校	3年生	誰もがスポーツを楽しむために ～ボッチャの交流を通して～	旭区おりしす会 双葉会支援グループ
8	12月	今宿小学校	全校	認知症理解	今宿西地域ケアプラザ
9	コロナウィルスの影響により中止	左近山小学校	6年生	認知症理解	—
10	1月	本宿中学校	1年生	高齢者理解(認知症理解)・視覚障害理解・聴覚障害理解	横浜市キャラバンメイト 旭区ひまわりの会、View-Net神奈川、横浜市聴覚障害者協会
11	3月	都岡中学校	1年生	精神障害・知的障害施設職員当事者からの講話	木々の会 メゾンあかしゅ

令和2年度 善意銀行 金銭寄付者一覧

【寄付金の受入】 件数:25件 預託金:663,950円

No.	受領日	寄付者名	預託金(円)
1	4月22日	匿名	16,000
2	5月8日	荻窪 邦昭	10,000
3	5月11日	たかはし書道教室	4,000
4	5月12日	中田 昌幸	10,000
5	5月29日	医療法人社団 恵生会 上白根病院	19,778
6	6月5日	匿名	1,000
7	6月18日	柳 久子	5,000
8	6月24日	匿名	3,057
9	7月2日	星野 耕介	2,755
10	7月10日	匿名	10,000
11	9月16日	匿名	50,000
12	10月14日	荻窪 邦昭	10,000
13	11月11日	内田 忠夫	53,934
14	11月12日	匿名	51,601
15	12月7日	都岡町内会チャリティもちつき大会	35,951
16	12月14日	旭区民生委員児童委員協議会	4,940
17	12月21日	伊藤 志壽江	23,000
18	12月25日	匿名	100,000
19	12月25日	旭区港友会	72,754
20	1月13日	荻窪 邦昭	10,000
21	2月9日	ヨガサークル ロータス	5,180
22	2月12日	近藤 和義	10,000
23	3月16日	食卓応援団マミー 令和2年度今宿小学校6年3組	50,000
24	3月17日	眞鍋 貴子	5,000
25	3月19日	匿名	100,000